

【2005年度】

(講演)

1. 滋賀医科大学睡眠学講座公開フォーラムにおいて「快適ライフと人間工学」の演題で講演実施。2005年4月28日
2. (社)人間生活工学研究センター主催の講座「人間生活工学」において「人間構造と特性の理解と製品展開(生理特性を活用した製品開発)」の演題で講演実施。2005年7月25日
3. 産業技術総合研究所主催ヒューマンストレス産業技術研究会、第8回講演会「日常生活での良いストレス」において「睡眠とストレス」の演題で講演実施。2006年1月20日

(著書・論文・学会発表など)

(学会誌・専門機関誌(依頼論文、解説論文))

1. 「脳機能生理指標の計測」、2005年、ヒューマンインタフェース学会誌、萩原 啓、7巻、3号、pp. 45~50

(学会発表)

1. 若林春樹、堺 夏葵、福井貴行、谷田陽介、萩原 啓：睡眠時体動のセンシング手法の違いによる特徴抽出、日本人間工学会関西支部大会講演論文集 ISSN 1344-4565, 51-54, 2005
2. 山口和彦、豊福 史、三田祐亮、高橋裕司、萩原 啓：接触圧刺激による強度変化と心理評価の関係、日本人間工学会関西支部大会講演論文集 ISSN 1344-4565, 61-64, 2005
3. 野田晃平、多田圭宏、福永みどり、萩原 啓：追従反応課題時における脳内 Hb (ヘモグロビン) 濃度計測による活性度定量化、日本人間工学会関西支部大会講演論文集 ISSN 1344-4565, 69-72, 2005
4. 谷田陽介、萩原 啓：心拍 RRI のローレンツプロット情報に着目した入眠移行期の簡易推定法、生体医工学シンポジウム 2005, 161-182, 2005
5. 豊福 史、山口和彦、萩原 啓：心電図 RR 間隔のローレンツプロットによる副交感神経活動の簡易推定法の開発、生体生理工学シンポジウム論文集, 20, 301-304, 2005

以上